

広 報

こうさ

【表紙】東京甲佐会から本町へ激励メッセージ

甲佐町の創造的復興を 心よりお祈り申し上げます

CONTENTS

- 02・特集 甲佐ブランド「こうさんもん」に新入生
- 06・こうさの話題 平成29年度緑川水防演習
- 10・私のおすすめ図書 大串哲さん（上豊内区）
- 20・Kosa Style 地域おこし協力隊・佐藤直樹さん（広瀬区）

No. 575
June 2017

6

外はこんがり、内側はふっくら柔らかな『うなぎ蒲焼き』。養殖場では、うなぎが好む水温や暗度、静けさを大切にしているため、完全屋内型の養殖を行っています。水槽の水には緑川水系の地下水を使用。また、全国でも数少ない循環る過システムの設備や液体酸素を使用することで、きれいな水質と十分な酸素濃度を保ち、徹底的な衛生管理の下でストレスを与えず

焼きたてそのままの風味を楽しむ



『うなぎ蒲焼き』（山本建設株甲佐養殖場）

緑川水系の地下水で育った

極上のうなぎの味わい

育てられたウナギは驚くほど肉厚。えさにも乳酸菌を混ぜて与えるなどの改良を重ねることで、身も皮も臭みのない仕上がりになっています。

たれ漬けと焼きを4回繰り返すことにより出来上がった蒲焼きは、口に入れるととろける食感で、たれと脂がからみ合う極上の味を楽しめます。また、温めた後にトースターや網で軽く炙るとさらに美味しくいただけます。

「安心して食べられる甲佐産のウナギ」を、ぜひ一度ご賞味ください。



▶お問い合わせ先
山本建設株式会社甲佐養殖場
096-285-3452

▶販売お問い合わせ先
わくわく倶楽部株式会社
0120-88-6288

特集 甲佐ブランド認定制度

「こうさんもん」に新入生



豊かな自然環境から生まれた地域資源の特性や魅力を生かした優れた商品などを応援するために立ち上げた「甲佐ブランド『こうさんもん』認定制度」。

今回新たに2品、山本建設株式会社の『うなぎ蒲焼き』とばん工房ふうさんの『梅酒カステラ』が認定され、本町の特産品が11品目になりました。

「こうさんもん」に新規認定された2品をご紹介します

今年3月に行われた「こうさんもん」認定品審査会において、新たに山本建設株式会社甲佐養殖場の「うなぎ蒲焼き」、ばん工房ふうさんの「梅酒カステラ」の2品のブランド認定品が誕生しました。また、合資会社池田製菓舗の「ボシドラ焼き」、ばん工房ふうさんの「ニラでスープ」が認定更新となりました。

新たに認定された「うなぎ蒲焼き」は緑川水系の地下水を使い、徹底した管理のもと手塩にかけて育てられたうなぎに、タレ付けと焼きを4回繰り返して仕上げた1品。焼きたてを急速冷凍し、真空パックしているのので、ご家庭で焼きたての味を楽しめます。

ばん工房ふうさんの「梅酒カステラ」は、カステラの中にたっぷりの梅酒と刻んだ梅酒漬の梅が入った1品。甘さは控えめに仕上げられており、ほんのりとした梅酒の香りが特徴で子どもからお年寄りまで楽しめるデザートになっています。

今回、新たに町のブランド品「こうさんもん」に認定されたこの2品の魅力をたっぷりご紹介いたします。

「こうさんもん」とは

「甲佐ブランド『こうさんもん』認定制度」は、本町の豊かな自然の中で育った農産物や加工品など魅力のある商品を町のブランド品として認定し、町や甲佐町商工会などが応援することで本町の活性化を目指します。

▼認定基準
①本町らしさを表現している商品であること
②名称、デザインなど本町を表現するもので、イメージアップにつながる商品であることや、一部に本町産のものを使用していること

③商品に独自性・優位性があること
④ほかの産地や類似商品と比較して、商品の特性に独自のこだわりがあること

▼認定品の主な特典
○町の広報紙、町公式サイト、パンフレットなどへの掲載を始め、町からも情報を発信します。
○町や本町関係団体が主催するイベント・出張などで、PRを行ったリ、同団体での業務用の物品として推薦したりします。

4月からはふるさと甲佐応援券（ふるさと納税）の「ふるさとチョイス」もスタートし、こちらでは返礼品として「こうさんもん」をお選びいただけるようになりました。

▶お問い合わせ先
町企画課
☎096-234-1154
(内線236)



あゆもなか

最中にはしっぽまでぎゅしりあんこがいっぱい

▶お問い合わせ先
ばん工房ふうさん
☎096-234-2112



にらメンコ。

本町産のニラと精肉店ならではのひき肉を使用

▶お問い合わせ先
大栄ファーム（高田精肉店）
☎096-234-0057



鮎の甘露煮

新鮮な鮎を甘辛く煮た、歴史ある一品

▶お問い合わせ先
衛守口屋
☎096-234-0016

ほんのり香る梅酒と
刻んだ梅の食感を楽しむ

『梅酒カステラ』（ぱん工房ふうさん）



▶お問い合わせ先
ぱん工房ふうさん
☎096-234-2112

特産品を増やして町を
もっと盛り上げたい

ぱん工房ふうさんの沼田峰子さんが「幅広い年齢層に食べていただけるものを」と考案した『梅酒カステラ』。

梅酒の香りを残すため、切れ込みを入れずにパックしてある認定品は、カステラの中に入った梅が入っており、ほんのり香る梅酒の香りと梅の食感が特徴。紅茶やコーヒーを楽しむ方にもおすすめのデザートです。甘さは控えめに仕上げているため、子どもからお年寄りの方まで楽しめる一品となっています。

「特産品を増やして、本町の活気をもっと盛り上げたい」と熱い思いを語る沼田さん。「甲佐町でしか食べられないものを、もっと増やしていきたい。この認定品が、町外の方にもっと甲佐町を知っていただくきっかけになれば」と話しました。

沼田さんはすでに次回作も考案中とのことで、「これからの甲佐町を担っていく若い人たちと切磋琢磨して、大好きな甲佐町を一緒に作っていききたい」と話しました。

ふるさと甲佐応援寄附金（ふるさと納税）が
リニューアル。インターネットで申し込める
「ふるさとチョイス」が始まりました

「ふるさとチョイス」でインターネットから
気軽に寄附金の申し込みができます



申込方法と寄附のご入金方法

申込方法

- ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」より申し込み
- 町ホームページから申込用紙をダウンロードし、記入し送付
※申込用紙が必要な方は町総務課へご連絡ください。

入金方法

- 「ふるさとチョイス」を利用された場合はクレジット払い（Yahoo! 公金支払の決済画面から決済してください）、現金書留、払込用紙、役場窓口での支払いとなります。
※申込用紙を町へ提出された方には、ゆうちょ銀行または郵便局の窓口で払い込みが可能な払込用紙を町から送付します。

申し込みや入金についてご不明な点がございましたら、町総務課までお問い合わせください。

「ふるさと甲佐応援寄附金（ふるさと納税）」とは、生まれ育った故郷や思い出の地などに貢献、応援したいという思いを寄附金というかたちで実現できる制度です。

今回新たにインターネットを介しての申込受付「ふるさとチョイス」が開始され、ふるさと納税を行いやすい環境が整備されました。さらに、町外在住で1万円以上の寄附をいただいた方には、「こうさんもん」認定品を含む42品の中からお礼の品を選択できるようになりました。また、町外在住の方が2千円以上の寄附をされた場合は寄附額に応じ、税の確定申告の際に所得税・個人住民税の控除を受けることもできます。「甲佐町を応援したい、貢献したい」という思いを「ふるさと甲佐応援寄附金（ふるさと納税）」という形で実現してみませんか？ ※なお、いただいた寄附金は、皆さまから希望いただいた町の事業に活用されます。

特典がたくさんの「ふるさとチョイス」を、甲佐町を離れてお住まいの方に、ぜひお知らせください。

※甲佐町在住の方、企業様には「お礼の品（記念品）」は進呈しておりません。大変申し訳ありませんがご了承ください。

●こうさんもん認定商品のお問い合わせ先 町企画課 ☎096-234-1154
●ふるさと納税についてのお問い合わせ先 町総務課 ☎096-234-1140



マシュマロ 鮎の里

マシュマロに混ぜ込まれたカステラがアクセント

▶お問い合わせ先
(資) 池田製菓舗
☎096-234-0118



井戸江峡万十

白あんの中に梅の甘酢漬けを入れ焼き上げる万十

▶お問い合わせ先
(資) 池田製菓舗
☎096-234-0118



和風ニラでスープ

本町産のニラを使用した味噌仕立てのスープ

▶お問い合わせ先
ぱん工房ふうさん
☎096-234-2112



ニラ侍

本町の特産品のニラをベースに考案されたキャラ

▶お問い合わせ先
甲佐町商工会
☎096-234-0272



ニラでスープ

本町産のニラを使用し、卵でとじた中華スープ

▶お問い合わせ先
ぱん工房ふうさん
☎096-234-2112



ボシドラ焼き

自家製白あんにさわやかな梅ジャムのドラ焼き

▶お問い合わせ先
(資) 池田製菓舗
☎096-234-0118

応援メッセージで本町を激励

東京甲佐会からふるさと甲佐町へ

熊本地震から1年として、東京甲佐会（蜂谷和明会長）から本町へ応援メッセージが寄贈されました。

同会は主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、昨年是被災した町への義援金の寄附などを行われています。

今回、熊本地震により被害を受けた本町へ向けて、同会一同は「甲佐町の「凛（りん）たる姿」は負けんたい！創造的復興を心よりお祈り申し上げます」と力強いメッセージを送りました。



▲震災復興応援メッセージを送る蜂谷和明会長

団地内のコミュニティを支援

甲佐ライオンズクラブより仮設団地に放送設備贈呈



▲白旗仮設団地集会所で行われた放送設備贈呈式で目録を奥名町長に贈呈する甲佐ライオンズクラブ田中勝廣会長（写真左）



▲交通ルールとマナーを学ぶ乙女小児童たち

交通ルールを守ろう

乙女小学校で交通安全教室を開催

4月19日（水）乙女小学校で、交通安全教室が行われました。同教室は、正しい交通ルールを児童が学び、事故の発生を防ぐことを目的として、町が御船警察署と開催しました。グラウンドに訓練用の信号機を設置して、本物の道路と同じ環境を準備。低学年の児童を対象とした訓練では、信号機の見方や正しい道路横断の仕方を実践。中・高学年は、自転車の正しい乗り方や道路の走行方法の実技訓練を行いました。訓練終了後、児童代表が「事故に遭わないように、交通ルールとマナーを守ります」と決意の言葉を述べました。

▼演習で「土のう積み工法」を実施する町水防団の団員たち



演習は、梅雨前線が停滞し大雨の恐れがあるという気象条件の想定の下、緑川の危険性に際して各水防団が水防活動を行いました。町水防団（松尾憲親団長108人）は、増水が早く水が堤防を越えそうときに堤防の上面に土のうを積み上げて水があふれるのを防ぐ「土のう積み工法」を実践し、迅速な作業を展開しました。

緑川で大きく育てね

甲佐小3年生が緑川で稚アユを放流

4月25日（火）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（福田雅也校長187人）の3年生31人が稚アユの放流を体験しました。

緑川環境保全と子どもたちの自然体験のために、サントリー九州熊本工場（嘉島町）が実施。緑川漁業協同組合（山口照雄組合長）の指導の下、バケツに分けた65*の稚アユを放流しました。

放流を体験した児童たちは、元気に泳いでいく稚アユを見て「緑川で元気に大きく育ててほしい」と話していました。



▲バケツに分けた稚アユを緑川に放流する甲佐小3年生

非常時の備えを万全に

平成29年度緑川水防演習

5月14日（日）安津橋上流緑川河川敷で、平成29年度緑川水防演習が開催されました。同演習は、緑川流域の市町などが参加する緑川水防演習協議会（奥名克美会長）が主催。この訓練は、大雨などによる洪水などの被害を未然に防ぎ、河川の非常時に際して迅速かつ確実に対処し、被害を最小限に止めるために緑川流域の市町や県、国土交通省や陸上自衛隊などが連携・協力して実施。水害の恐ろしさと水防の大切さを広く啓発するために、毎年、梅雨時期前に行われています。



▲集積されたごみを分別する甲佐中生徒たち

きれいな緑川を守ろう

「緑川の日2017」一斉清掃活動

4月29日（土）緑川流域などで、「緑川の日2017」一斉清掃作業が行われました。緑川などの自然環境の保全に際して、住民や企業、行政機関などが連携して取り組むことを目的として、甲佐町緑川流域美化活動推進協議会（境国嗣会長）が主催。約2,000人が参加して、ごみ拾いや清掃作業に取り組みました。参加者が各地で回収・分別した紙くずや空き缶・空き瓶、不法投棄されたごみなどは中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中学校（井上幸三校長228人）の生徒らによって再度分別作業を行い処分。町内全体で、約2,600*のごみを回収しました。

国民健康保険

健診を受診し健康状態をチェックしましょう



町が実施する健診を受診して健康を保ちましょう

7月から町の各種健診を実施します

健康的な生活を送るためには、規則正しい生活とともに自身の健康に関心を持ち、身体の状態を知ることが大切です。

町では、7月から町総合保健福祉センターで、特定健診、若者健診、後期高齢者医療健診などの各種健診を実施します。町の健診では、受診費用の一部を町が負担します。個人負担も少なくて済む町の健診をぜひご利用ください。

町が実施する健診について

- 特定健診・若者健診
●実施期間
7月5日(水)～11日(火)
▼対象者
本町の国民健康保険被保険者で

- 20～74歳の人
▼個人負担金
1,000円
▼健診内容
体格検査、血液検査、尿検査、血圧測定、心電図検査、医師の診察など

- 後期高齢者健診
▼実施期間
8月17日(木)～19日(土)
▼対象者
75歳以上の人および一定の障がいがある65歳以上の後期高齢者医療被保険者

- ▼個人負担金
800円
▼健診内容
体格検査、血液検査、尿検査、血圧測定、心電図検査、医師の診察など
※右でご案内しました健診と併せて「がん検診」も実施しますが、検査の種類により対象年齢と個人負担金が異なります。

- ▼お問い合わせ先
町住民生活課
TEL 096-234-1113
▼健診のお申し込み先
町総合保健福祉センター
TEL 096-235-8711

町住民生活課 TEL096-234-1113(内線106)

介護予防

はつらつりハビリ教室に参加しませんか



教室に参加して自身の体を改善しましょう

はつらつりハビリ教室が始まりました

町では、要支援1・2認定者および介護予防・日常生活支援総合事業「事業対象者」を対象に、『はつらつりハビリ教室』を開催しています。

この教室は、利用者が重度な要介護状態になる前に教室に参加し、自身の体の状態を改善することで、住み慣れた地域でいきいきと自分らしい暮らしができるようサポートすることを目的として開催しています。最近、足腰が弱くなってきたという方や、入院生活で体力が落ちてしまったという方は、特におすすです。

- ▼開催日時
毎週水曜日午前9時30分～午前11時30分

- ▼会場
町総合保健福祉センター
多目的ホール
▼対象者
介護保険の認定で、要支援1・2と認定された方
・事業対象者(基本チェックリスト該当者)
定員は30人で、費用は1回300円となります。申し込みは定員に達するまで随時受け付けます。町地域包括支援センターに直接またはお電話にてお申し込みください。
▼内容
・リハビリテーション専門職が行う機能向上プログラム(運動機能向上・口腔機能向上・栄養改善など)に16回通う教室です。
・プログラム終了後は教室卒業となりますが、教室卒業後は、ご自身で習得した内容を継続できるようにプログラムになっています。
・希望者は、送迎も行います。教室後の送迎まで1時間の自由時間もありますので、近くのお店で買い物もできます。
※買利物の付き添いはありません。
▼お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
TEL 096-235-8711

町総合保健福祉センター TEL096-235-8711

国民年金

国民年金保険料の納付をお忘れなく



国民年金については町住民生活課へ

国民年金への加入について

国民年金は、日本国内に住むすべての人が、20歳から60歳になるまで加入する制度です。したがって、20歳になったら国民年金に加入しなければなりません。ただし、厚生年金や共済年金に加入している人は、手続きの必要はありません。加入の届出は、住民生活課で手続きをしてください。

国民年金保険料の納付について

平成29年度国民年金保険料は、定額16,490円(月額)です。この定額保険料に、毎月400円の付加保険料をプラスして納めることで、将来受給する年金額を増やすことができます(付加年金の

加入には申請が必要です)。保険料は、日本年金機構発行の納入通知書により、翌月末日までに、金融機関(銀行、郵便局、農協、コンビニなど)で納めることができます。また、自動的に引き落としとなる口座振替や、一括して納める前納割引制度もあります。

- ▼納付方法
●納付書による支払い
日本年金機構から送付される納付書により、銀行などの金融機関、郵便局、コンビニで現金で納めます。
●口座振替・クレジットカードによるお支払い
口座振替やクレジットカードをご利用するには申請が必要です。左記の必要なものをご持参の上、町住民生活課で手続きしてください。

- ▼必要なもの
・基礎年金番号が分かるもの(年金手帳、納付書など)
・口座振替の場合
口座番号が分かるもの、金融機関への届け印
・クレジットカード払いの場合
ご利用するクレジットカード、印かん

町住民生活課 TEL096-234-1113(内線104)

男女共同参画

6月23日から29日までは「男女共同参画週間」です。

内閣府男女共同参画局は、「男女共同参画社会基本法」が平成11年6月23日に公布・施行されたことにちなみ、平成13年度以降、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。

男性と女性が、職場で、学校で、地域で、それぞれの個性と能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、政府や地方公共団体だけでなく、住民の皆さん1人ひとりの取り組みが必要です。私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか?

男女のパートナーシップについて考えよう



1人ひとりの取り組みが大切です

- 平成29年度のキャッチフレーズは、内閣府の公募により、「男で〇、女で〇、共同作業で◎。」に決定しました。
※「〇」の読み方…まる「◎」の読み方…にじゅうまる
▼女性の悩み、不安、困り事：女性相談員に話してみませんか?
くまもと県民交流館女性総合相談室では、熊本地震被災地の仮設団地などを中心に、訪問型の相談事業を実施しています。
▼日時
6月17日(土)、7月15日(土)
午前10時～午後3時
▼会場
益城町テクノ仮設団地E談話室
※テクノ仮設団地以外の方のご参加もお待ちしております。詳しくはくまもと県民交流館までお問い合わせください。
▼参加申込・お問い合わせ先
くまもと県民交流会館
女性相談室
TEL 096-355-2223
▼お問い合わせ先
町総務課
TEL 096-234-1140

町総務課 TEL096-234-1140(内線222)

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

町生涯学習センター自主文化事業 「林家きく麿 落語会」

町では、地域の文化的活性化を目的として、生涯学習センター自主文化事業を行っています。平成29年度も多くの皆様のご来場ご観覧をお待ちしています。

●日時 6月13日(火)
開場 午後6時30分
開演 午後7時

●会場 町生涯学習センター・ホール

●内容 林家きく麿 落語会

どなたでも参加できますので、ご近所お誘いの上、たくさんの参加者をお待ちしています。

●公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先
町教育委員会公民館事務局
☎096-234-2447(内線321)

作り方や遊ぶときの注意など、詳しく説明を聞いて作成。スーパーストール作りでは、ノリとほう砂液を混



▲作成の仕方を教える市下克幸さんと熱心に説明を聞く児童

公民館出前講座・下横田区 下横田子ども会

5月13日(土) 下横田公民館で、出前講座「スーパーストールとオリジナルストラップづくり」を下横田区の市下克幸さんを講師に迎え開催しました。はじめに、市下さんから

意を呼び掛けているが、未

公民館出前講座・上揚区 振り込め詐欺

4月24日(月) 上揚公民館で、出前講座「振り込め詐欺」をテーマに開催しました。

頃から家族や地域とのコミュニケーションが「一番大事」と力説しました。



▲振り込め詐欺について注意を呼びかける佐々木善平室長

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●災害と人権②

前回掲載の「災害と人権①」では、平成28年4月に発生した熊本地震での避難時を振り返り、特に「災害弱者」・「災害時要支援者」に注目しました。今回は、東日本大震災に起因する人権問題を取り上げます。東日本大震災から6年が経ちました。「6年前、どこか他人事のように思っていたけれども、熊本地震を経験して、感じ方・考え方が変わった・・・」という方も少なくないかもしれません。

東日本大震災に起因する人権問題

(平成28年度版「人権の擁護」(法務省人権擁護局発行))より抜粋

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、大津波の発生により東北地方と関東地方の太平洋沿岸に壊滅的な被害をもたらした。未曾有の大災害となりました。また、地震と津波に伴い発生した東京電力福島第一原子力発電所事故により、周辺住民の避難指示が出されるなど、多くの人々が避難生活を余儀なくされています。このような中、避難生活の長期化に伴うトラブルや放射線被ばくについての風評等に基づく差別的取扱い等の人権問題が発生しています。

内閣府「人権擁護に関する世論調査」(平成24年8月調査)から「東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故の発生により、現在、被災者にどのような人権問題が起きていますか?」

- ・避難生活の長期化によるストレスに伴ういさかいや虐待
- ・差別的な言動をされること
- ・職場、学校等でいやがらせやいじめを受けることなどが上位を占めています。

コッコ通信より

Library

町生涯学習センター図書室からの6月のおすすめ図書

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

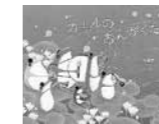
世界一の自動車会社の禁断の真実 梶山 三郎著 / 『トヨタの野望』



講談社
小説

創業者VS左遷サラリーマン! 日本の救世主はハズレ社員だった。失われた20年を、高度成長期並みに駆け、世界一となったトヨタ自動車。日本経済の最後の砦・巨大自動車企業の真実を、気鋭の経済記者がノンフィクションではなく小説で描いた話題作。圧倒される展開に引き込まれ、一気に読みしてしまうおすすめの一冊です。

雨の季節を元気にしてくれる絵本 刀根 里衣作 / 『カエルのおんがくたい』



小学館
児童書

雨がたくさん降っています。退屈したカエルは、カエルの音楽隊を組んで、みんなを元気づけることに。音楽隊がいるいろいろな場所で演奏をしているとトリがやってきて、雲にくらまって寝ている太陽を起こしてほしいと言うのです…。カエルたちの演奏はとっても楽しい音の連続です。リズムカルな言葉の音楽は、読み聞かせに最適です。

「遊行」で何気ない毎日を特別に 鎌田 実著 / 『遊行を生きる』



清流出版
一般書

「遊行」とは、先入観やこだわりを捨て、自由な感性で生きること。「遊行」は、何気ない毎日を特別にする。生きるのが楽になる。カマタ流に意識・超訳した先達の言葉や、地震の生き方を支える言葉の数々。終盤を迎えた著者が自身も悩みつつ見つけた、人生の切り開き方、考え方をエピソードや名言などから紹介しています。

米粉を使ったおいしいレシピが満載 多森 サクミ著 / 『フライパンでできる米粉のパンとおやつ』



立東舎
教育・娯楽

イングリッシュマフィンからクリームパンにカレーパン、トルティーヤやパンケーキ、ドーナツ、ビスケットなど、小麦粉の代わりに米粉を使い、卵も乳製品も不使用。フライパンだけで手軽にできる、グルテンフリーのおいしいレシピを役50点紹介しています。朝食やランチ、おやつに、焼きたて蒸したてをおうちでどうぞ。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

我が国では65歳以上の人口が増加し、今や老人大国となり、医療・介護をはじめとする福祉予算が財政を圧迫し、自治体運営も思うように進まないという全国的傾向にあり、地方によっては限界集落も増えてきています。

そんな中、この本は財政破綻寸前の田舎町が採った逆転の秘策による「まちづくり」物語です。

今月の案内人



大串 哲さん
(上豊内区)

敬遠されがちな老人を大切に受け入れることで、日本中から羨望されるような光り輝く理

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『プラチナタウン』(榎 周平著)
高齢化が進み巨額の負債を抱える地方の町。そこを、高齢者が集まり思い思いに暮らせる「プラチナタウン」に変身させるべくプロジェクトに挑む人々を描く。



想郷を完成させてゆきます。まさに「プラチナタウン」です。

現実の税制度や各種規制法規等には合致しない分が仮にあったとしても、傾聴に値するこうした逆転の発想の中にこそ、地域おこしのヒントが秘められているのかも。

甲佐町の様相を昔と比べて寂しく感じる小生としては、日頃「まちづくり」に腐心されている皆さん方に是非ご一読をお勧め

めします。

●あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか?
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)

Smile

わが家の“笑顔”をご紹介します



福岡 ちよちゃん (1歳)

父・裕輔さん 母・愛子さん
(緑町区)

優しい子になってね。



増本 瑛真くん (1歳)

父・英一さん 母・麻衣子さん
(下横田区)

元気いっぱいすくすく育ててね!

★お子さんの成長の記念として、“笑顔”の写真を『広報こうさ』紙面に飾ってませんか? 写真掲載のお申し込みは、町総合保健福祉センターまで。

●お子さんの“笑顔”の写真掲載に関するお申し込み・お問い合わせ先
町総合保健福祉センター
☎096-235-8711

Child-Care

6月の子育て支援カレンダー

<p>○ 甲佐保育園 ☎096-234-0186</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	<p>○ 甲佐町子育て支援センター (竜野保育園内) ☎096-234-0305</p> <p>2日(金) 親子で読書</p> <p>5日(月) 小麦粉粘土で遊ぼう</p> <p>7日(水) 牛を見に行こう</p> <p>9日(金) ブロック遊び</p> <p>12日(月) 父の日のプレゼント作り</p> <p>14日(水) お誕生会 (要予約)</p> <p>16日(金) 折り紙でアジサイを作ろう</p> <p>19日(月) 牛乳パックで製作</p> <p>21日(水) おやつ作り</p> <p>23日(金) 風船で遊ぼう</p> <p>26日(月) 積み木で遊ぼう</p> <p>28日(水) 七夕の飾りを作ろう</p> <p>30日(金) お絵かきをしよう</p> <p>育児相談(電話・面接) 月～金曜日 午前9時30分～午後4時</p> <p>体験保育 月・水・金曜日 午前9時30分～正午</p>
<p>○ 若草保育園 ☎096-234-0013</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	
<p>○ 竜野保育園 ☎096-234-0519</p> <p>14日(水) お誕生会</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	
<p>○ 乙女保育園 ☎096-234-3947</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	
<p>○ 緑川保育所 ☎096-234-0789</p> <p>園庭開放(土・日曜日、祝日を除く)</p>	

●行事などに関する詳しい内容は、各園に直接お問い合わせください。

Health

町総合保健福祉センターからのお知らせ

自宅ですぐに最期を迎えるために事前に考え準備しておきましょう

◆人生が残りわずかであるとき

「人生が残りわずかである」というとき、皆さんはどこまで過ごしたいですか。自宅で最期を迎えたいと思っている人はどのくらいいらっしゃるのでしょうか。

厚生労働省の「人生の最終段階における医療に関する意識調査」の結果を参考にしますと、医療機関が19・0%、介護施設が8・2%、一番多い選択肢は、自宅で71・7%でした。しかし、実際のところは、亡くなる場所として一番多いのが病院であることが今の現状です。自宅で最期を迎えたいと思っても、人が最期を迎えたいときの状態について知る機会が

ないために、自宅でのみとりに対応できる知識や心構えができていないからではないでしょうか。

平成37年に団塊の世代が後期高齢者となる75歳を迎え、人口の高齢者の占める割合が増加していく中で現在のように医療や介護を施設で受けることが難しくなり、今後はご本人の自宅を中心とした医療と介護サービスの提供が図られることになると考えられます。自宅で最期を迎えるために、どのような準備が必要なのか、ポイントをご紹介します。

◆看取りに必要な準備の3つのポイント

① 思いや考えを知る
自分・家族はどこで最期を迎えたいか、考えを話し合う必要があります。

② 心構えをつくる
終末期の心とからだの状態変化を学ぶことが必要となります。

③ 思いの共有化
意思表示ができるうちに看取りについての意向を文書しておくことが望ましいと考えられます。

一度、文書化したら、その後訂正することができないということではなく、ご本人の心や身体の状態によって気持ちも変化しますので、変更することが可能ということとは知っておく必要があります。まだまだ元気だからと、家族でみとりについて話をすることの必要性を感じることもできない方が多いと思います。しかし、本人が急に病気や認知症となり、意思表示が難しくなるかもしれません。終末期に向き合えるように事前に準備しておくことが大切です。

あゆみだより

このコーナーでは、毎月、町総合保健福祉センター職員である保健師、社会福祉士などが、健康や福祉、介護、健康診査などに関する情報をリレー形式でご紹介します。



今月の「あゆみだより」は
福田 久美子 保健師

人生の最後について、元気なうちに家族と話し合い、意思を伝えておくことが大切です。今後みとりに関する研修会を実施する予定ですので、皆さんもぜひ参加され、ご自身や家族のことを考えるきっかけになればと思います。

◆町における看取りに関する研修会の開催

町では、全区長、民生委員および福祉推進員で希望される方を対象として、「平成28年度甲佐町医療介護連携推進事業」を3月8日(水)に町総合保健福祉センターで開催しました。介護が必要となったとき、自分らしい暮らしについて考えることができること、自分らしい生き方や希望するみとりについて家族と話し合うことができることを開催の目的としています。

講師は「おうちに帰ろう」と題して、ご自身の経験などを含めて、がんなどで介護が必要となった時のみとりの場所の選択肢や緩和に関することについての準備や心構えなどを谷田病院看護部長の岩崎真由美さんから講話いただきました。グループホームせせらぎ代表の高橋恵子さんには、認知症になった時の介護について、また、看取りの場所としてどのような選択肢があるのか、また、グループホームでのみとりについて具体的な事例を基にご講話いただきました。参加した方からは、家族で話し合いたいなどの意見をいただきました。

このような研修会の機会を今後お設ける予定です。ぜひ、興味のある方はご参加ください。

6・7月の保健活動	
●会場	町総合保健福祉センター
+	4か月児健診
6月15日(木)	午前9時
7月20日(木)	午前9時
+	7か月児健診
6月15日(木)	午前10時
7月20日(木)	午前10時
+	ピカピカ1歳児教室
6月9日(金)	午前9時30分
+	1歳6か月児健診
7月18日(火)	午後1時
+	すくすく2歳児子育て相談
7月28日(金)	午前9時30分
+	3歳児健診
7月18日(火)	午後1時20分

●健康や福祉、介護、健康診断などに関するご相談・お問い合わせ先
・町総合保健福祉センター
・町地域包括支援センター (町総合保健福祉センター内)
☎096-235-8711



お知らせ

平成29年度金婚夫婦表彰のお知らせ

熊本日日新聞社主催で例年執り行われております、金婚夫婦表彰に該当されるご夫婦を受け付けています。併せて、各行政区の嘱託員（区長）に回覧での調査と取りまとめを依頼しています。

該当するご夫婦は、次の要領でお知らせください。

- ▼該当するご夫婦 昭和42年1月1日から同年12月31日までの間に結婚され、本年度で満50年を迎えられるご夫婦
- ▼受付期間 6月1日（木）～7月14日（金）
- ▼連絡方法 回覧用の調査用紙に記入され嘱託員（区長）にご提出

ただ、か、町総務課までご連絡ください。

▼表彰式典などについて 8月下旬に熊本日日新聞紙上にご夫婦の氏名が掲載されます。また、町開催の表彰式を町生涯学習センター・ホールにて、9月15日（金）に行う予定です。

▼お問い合わせ先 町総務課
☎096・234・1140
(内線223)

無料・匿名でHIV検査が県保健所で受けられます

県では、6月1日（木）から7日（水）までの「HIV検査普及週間」に合わせて、県内の各保健所でHIV検査を拡充して実施します。

エイズとは、HIVというウイルスに感染しておこる病気です。エイズはHIV感染から発症まで数年の潜伏期間があり、その間は自覚症状がなく感染に

気付きにくい病気です。しかし、早期に発見し治療を始めれば、発病の予防や進行を遅らせることができます。

▼県御船保健所の検査日程
・6月1日（木）午前9時～午前11時、午後5時～午後7時
・6月2日（金）～5日（月）6日（火）～7日（水）午前9時～午後5時

なお、県御船保健所では年間を通して、毎週木曜日午前9時～午前11時、第1木曜日午後5時～午後7時に検査を受けることができます。

検査は、採血後1時間程度で終了します。

▼お問い合わせ先 県御船保健所
☎096・282・0016

無料歯科健診のお知らせ

会員各上益城郡内歯科医院において歯科健診を無料で受けることができます。

県国保・高齢者医療課
☎096・333・2223

無料登記相談所の開設について

熊本地方法務局では、無料の登記相談所を開設します。倒壊した建物の登記に関する相談や土地・建物などの売買・贈与相続などの登記に関する

古きを訪ねて甲佐町を知る

甲佐町の文化財探訪 ～第45回～

「八丁の十二面観音」 石坂 妙 町文化財保護委員（吉田区）

八丁神社から、直線距離にして60㍍ほど北に行ったところの民家の一隅に十二面観音像が祭られています。

昨年地震により、この像も被害を受けましたが、充分修復には耐えるものと思っています。

この像は、その昔、甲斐の国（現在の山梨県）の武田信玄の許を逃げ出した、小山田宗政がこの像だけを背負い、肥後の国に逃れてきたのだと言います。

そして肥後の城主だった佐々成政に仕えましたが、彼が藩政に失敗し、次の藩主が加藤清正になると、武士を捨て浪人になり、八丁の地で惣屋を務めるようになります。十二面観音像も勿論一緒です。

以前、この像について村の人に聞いたことがあります。

それによると、以前は1月と

5月、9月の18日には小山田一族が集まり、お祭りをしていたそうです。また、この像の前を通る時は必ず立ちどまってお辞儀をする習慣があったといいます。

像の出自はともかく、小さい時から像を敬うという気持ちが、この地では育まれていたのではないのでしょうか。

こういう習慣は、今の時代にも見習うべきことかも知れませんね。



「十二面観音像」

▼お問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
☎096-234-2447 (内線322)

お礼

ふるさと甲佐応援寄附金

「ふるさと甲佐応援寄附金」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

町では、心温まるご好意を町の振興のために大切にに使わせていただきます。引き続き、多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

▼平成29年度寄附金額合計
1,035,000円
(5月15日現在)

▼お申し込み・お問い合わせ先 町総務課
☎096・234・1140
(内線224)

environmental preservation

クリーンセンターへのごみ搬入量（4月分）

種別	搬入量	前月比較	前年比較
可燃ごみ	236,640	△21,940	△36,520
資源ごみ	32,890	8,690	5,690
粗大ごみ	6,860	520	△3,560
合計	276,390	△12,730	△34,390

※単位：kg

traffic safety

交通事故件数

種別	発生件数	前年比較
事故件数	9	(1)
死者	0	(0)
傷者	13	(2)

平成29年5月15日現在（カッコ内は前年比較）

fire prevention

出動火災件数

種別	発生件数	前年比較
家屋	2	(1)
原野	0	(0)
その他	4	(4)
合計件数	6	(5)

平成29年5月15日現在（カッコ内は前年比較）

doctor

日曜当番医

月日	当番医	電話番号
6月4日	桃崎整形外科	☎096-235-8111
6月11日	荒瀬病院	☎096-234-1161
6月18日	谷田病院	☎096-234-1248
6月25日	小屋迫医院	☎096-234-0165

tax

町税などの滞納処分（4月分）

種別	件数・金額など
捜索	0件
差し押さえ件数	1件
交付要求	0件
取立・公売代金	30,000円

お問い合わせ先一覧

- 町役場 ☎096-234-1111 (代表)
- 町教育委員会 (町生涯学習センター) ☎096-234-2447 (代表)
- 町総合保健福祉センター ☎096-235-8711
- 町水道管理センター ☎096-234-0755
- 町民センター ☎096-234-2459
- 町学校給食センター ☎096-234-0255
- 町老人憩いの家 (社)甲佐町社会福祉協議会 ☎096-234-0423
- 御船町甲佐町衛生施設組合 (クリーンセンター) ☎096-282-0688
- 上益城消防署 ☎096-282-1955
- 御船警察署 ☎096-282-1110
- 上益城広域連合 ☎096-237-2891
- 県上益城地域振興局 ☎096-282-2111 (代表)
- 県御船保健所 ☎096-282-0016
- 県庁 ☎096-383-1111 (代表)

お知らせ

ひとり親家庭の方の資格取得を支援します

介護支援専門員としてこれから働こうとする方の、働く上で必要な資格を習得し就業を支援するため、介護支援専門員受験準備講習会の受講者を募集しています。

▼募集対象者（次のいずれも満たす方）

①県内のひとり親家庭のお母さん、お父さん、寡婦の方（熊本市在住の方を除きます）

②希望する講習会の全日程に出席可能で、技能・資格取得に意欲のある方

③平成29年度本試験の受験を予定している方

▼受講期間

8月11日（金）～9月1日（金）

毎週金曜日（4回）午前9時30分～午後3時30分

▼受講場所

県総合福祉センター

▼申込先

町福祉課

▼申込期限

7月21日（金）

▼お問い合わせ先

熊本県母子家庭等就業・自立支援センター

096・351・8777

お知らせ

法定相続情報証明制度が始まりました

全国の法務局において、各種相続手続に利用することができるよう「法定相続情報証明制度」が始まりました。

法務局に戸籍・除籍謄本などの束とともに相続関係を一覧に表した図（法定相続情報一覧図）を提出すれば、登記官がその一覧図に認証文を付した証明書を無料で交付しますので、その後の各種相続手続は法定相続情報一覧図を利用することで、戸籍・除籍謄本などの束を何度も出し直す必要がなくなります。また、有資格者（弁護士や司法書士など）による代理申出も可能です。

▼お問い合わせ先
熊本地方方法務局
096・364・2145

平成29年度調理師試験の実施について

平成29年度調理師試験を、次のとおり実施します。

▼試験期日

8月29日（火）

▼会場

熊本県立大学

▼受験資格

中学校卒業程度の学歴を持ち、飲食店や休職施設などで2年以上調理業務に従事した経験のある方

▼願書受付

6月12日（月）～6月16日（金）

▼提出先

県保健所

▼お問い合わせ先

県健康づくり推進課

096・333・2252

夏山カフェ開催のお知らせ

旧宮内小学校で、手づくりのカフェイベント「夏山カフェ」を開催します。緑の山々に囲まれた手作りカフェです。皆様のお越しをお待ちしています。

●主催
パワフル母ちゃん
NPO法人自然楽しみやうち

●日時
7月2日（日）
午前10時～

●場所
旧宮内小学校

●お問い合わせ先
宮内地区社会教育センター
096-234-0762

●本町をご支援いただきありがとうございます ～震災支援を行う派遣職員のご紹介～

熊本地震の発生に伴い、町では昨年度から震災復興のため、県内外から多数の派遣職員の方にご支援をいただきました。昨年に引き続き今年度も、4月から町へ7人の派遣職員の方が町職員として1年間、震災復興・復旧業務に従事されています。今年度にも本町の震災復興のために尽力される派遣職員7名の皆さんをご紹介します。



宮崎 康徳 さん（農政課）
熊本県土地改良事業団体連合会
昨年7月より農災の支援にお世話になっております。



田之上 宏一 さん（建設課）
曾於市総務課
来年3月までではありますが、よろしくお願ひします。



若松 豊 さん（建設課）
薩摩川内市建設部建設維持課
1年間ではありますが、甲佐町の為に精一杯勤めて参ります。



森田 和樹 さん（建設課）
伊佐市建設課
早期復興に向け、微力ながら頑張ります。



江崎 良隆 さん（建設課）
出水市建設課
災害復旧・復興のお手伝いが少しでも出来ればと思います。



加治佐 実幸 さん（建設課）
南九州市建築住宅課
甲佐町の早急な復旧・復興を目指して頑張ります。



蒲ヶ原 敬嗣 さん（建設課）
鹿児島市谷山建設課
復興のために頑張ります！26歳独身（笑）公私共に充実した1年にします。

くらし安全

車上ねらいや乗り物盗に注意しましょう

御船警察署管内で車上ねらい

毎年6月は、「食育月間」です。考える「食育月間」です

6月は「食育月間」です。「食」は私たちが生きていく上で欠かせない命の源です。この機会に、食を楽しむことの大切さ、食の持つ多様な役割など、家族や身近な人と「食」を見つめてみませんか。

県は、「くまもと食で育む命・絆・夢プラン（県健康食生活・食育推進計画）」に基づき、食育の取り組みを推進しています。

▼お問い合わせ先
県健康づくり推進課
096・333・2252

や乗り物盗が発生しています。次の事項に注意して、車上ねらいなどを防ぎましょう。

▼防犯対策

- ・オートバイや自転車から離れるときは、わずかな間でも必ず鍵をかけましょう。特に2つの異なる施錠をする「ツーロック」が効果的です。
- ・車から離れるときは、車中に貴重品やバッグなどを放置せず必ず携帯しましょう。
- ・路上にとめず、駐車場や駐輪場を利用しましょう。
- ・自宅や学校の駐輪場でも必ず鍵をかけましょう。
- ・自転車は必ず防犯登録をしましょう。

不審者・不審車両を見かけたら、すぐに110番を！

▼お問い合わせ先
御船地区防犯協会連合会（御船警察署内）
096・282・1110（内線261）

町生涯学習センター・ギャラリーモール展のお知らせ ～6月～

●「布の絵本展」

▶期間
5月19日（金）～6月6日（火）

●お問い合わせ先
町教育委員会社会教育課 096-234-2447



子クック会
布の絵本展

「I-YOU スポーツクラブ」6月のアユスポ・カレンダー

サッカー教室
大塚 琉高くん（緑町区）
サッカーががんばるぞ！

●スポンジテニス&バドミントン
甲佐小体育館 月曜日 午後7時30分

●少年柔道
甲佐中武道館「甲心館」
月・水・金曜日 午後7時

●卓球
町生涯学習センター
水・金曜日 午後7時30分

●サッカー教室
甲佐中グラウンド 木曜日 午後7時
甲佐小グラウンド 土曜日 午前9時

●バスケットボール教室
甲佐中体育館 火曜日 午後8時

■お問い合わせ先
I・YOU(アユ)スポーツクラブ事務局
(町教育委員会社会教育課内)
096-234-2447(内線325)

Event

ひとの動き (敬称略)

4月11日(火)～5月10日(水)

birth お誕生おめでとう

住所	氏名	性別	保護者
船津	仲原 結菜	女	直人
横田	伊藤 絃	男	辰徳
糸田	松野 仁香	女	誉弘
西原	栗林 和叶	女	和成
緑町	木原 萌七	女	元春
府領	赤星 遼空	男	勝幸
西寒野	吉松 睦	男	友紀
船津	桑田 心海	女	祐作
船津	北野 叶彩	女	裕大
仁田子	甲斐 敬翔	男	敬大

marriage ご結婚おめでとう

住所	氏名
津志田	長田 慎
津志田	孟 静

condolence お悔やみ申し上げます

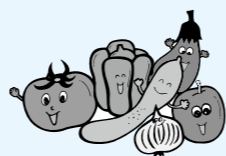
住所	氏名	年齢	世帯主
横田	田上 玲子	92	謙了
西寒野	遠山 浪恵	86	裕美子
岩下	野仲 マヨ子	87	マヨ子
豊内	日隈 征夫	72	久美子
豊内	大瀧 ツルエ	92	良一
南三箇	坂口 洋一	70	直美
下横田	本村 孔	59	禎子
西原	西川 フキ子	89	フキ子
大町	木村 靖信	92	節子
横田	田上 ヨシ子	99	益男

data 甲佐町の人口・世帯数

項目	数	増減
男	5,132	1
女	5,760	△3
計	10,892	△2
世帯数	4,276	△1

平成29年4月30日現在

こうさの野菜で作ってみよう!



レシピ提供: 料理研究家 沼田峰子さん(北原区)

シソの佃煮

ご存知ですか?

シソにはβカロテンがたくさん含まれています。このβカロテンは活性酸素を抑えて動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病から守ってくれます。そして、粘膜の細胞を正常に保ち免疫力を高めるので、ガン予防に効果があるそうです。シソは他にもたくさんのビタミンを含んでいて、強い防腐や殺菌作用もあります。お刺身の横にチョコンとありますが、これは理に適っているのです。



材料

- 青シソの葉……………100枚くらい
- チリメンジャコ……………80g
- 濃い口醤油……………1/2カップ
- 砂糖……………大さじ2
- 赤酒……………大さじ2
- 黒ゴマ……………大さじ2～3

作り方

- ①シソは振り洗いをしておく。
- ②鍋に湯を沸かし①のシソをサッと湯通しをしてザルに上げ、十分に水気を切りましょう。
- ③しっかり水切りをしたら、干切りにしてギュッと絞ります。
- ④別の鍋に調味料全部をとちりメンジャコ、ゴマを入れ火にかけます。ひとふきしたら③を加え、5～6分ほど煮たら出来上がりです。
- ⑤完全に冷めたら密閉容器に移し入れ、冷蔵庫で保存します。

★おにぎりの芯にしたり、ご飯に混ぜ込んでもいいでしょう。また、そうめんや冷奴の薬味としてもおすすめです。

編集後記

今年も6月に入り、夏の暑さが迫って来ています。また、雨の多い梅雨の時期となります。去年はニュースにも取り上げられるほどの大雨が降り、土砂崩れなど、甲佐町に大きな被害をもたらしたことはみなさんの記憶にも新しいことかと思えます。今回、こうさの話題では水防演習を取り上げました。私も以前大雨の降った日に、現場に赴き土のうを積んだりしたことがあります。演習で水防団のみなさんが実践された水害発生時の動きを見させていただき、初めて見る対処法ばかりで、とても勉強になりました。実際に水害が起こった際にどうすればよいか、私も町の職員として、消防団として災害時には、正しい対処法を身につけ、落ち着いて行動しなければならぬと痛感させられる取材になりました。



5月3日(水)に甲佐町ろくじ館で開催された漬物バイキング(ろくじ館)

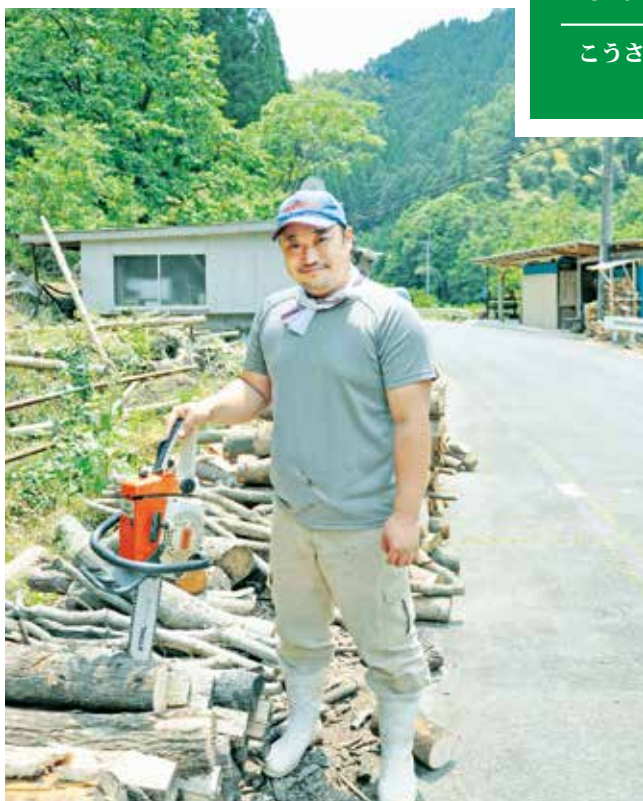
うたごよみ 水無月

【短歌】
 渡辺幸士選
 朝朝に愛で楽しみし白椿最後の輪ボツリと落ちる 塚原 暁益
 端午の日幟雄々しく風に揺れ色鮮やかに大空に舞う 池田キヨ子
 懐メロを義妹と二人聞きながら亡夫の事を思いだしおり 赤星 文子
 それぞれの想いで待ちし桜花に心癒され希望生まるる 緒方 明美
 山ふじは淡く染まりて膨らみて細きつるべに垂れ下がり揺る 赤星 延子
 雨音の滾つ築場に出れば涼風吹きて蜩の鳴く 上村 かず
 故郷を離れて学ぶ愛孫に幸多かれと独り呟く 白梅 武人
 未だ続く熊本地震治らず早くも一年不安は続く 上村 やす美
 早起きのご褒美のごと鶯は姿見せつつ鳴き声愛し 塚本 俊子
 満開の桜を揺らす春一番前に後ろに花びら散らす 吉永由紀子
 年取るとこんな体ひえるのか妹は半袖吾は重ね着 内田乃武子
 あれこれと気遣いくるる娘らに吾の気付かぬ老いを自覚す 渡辺 幸士

【川柳】

【送る】
 渡辺幸士選
 ケアハウス希望を託し送られる 川田トメ子
 母の日に感謝を込めて服送る 布田 愛子
 母の日に何を送ろう迷い居り 森田千鶴子
 嬉しくて贈る言葉が直ぐ出ない 三芳 嘉逸
 【温度】
 エアコンも汗をかいている乱高下 林 雅之
 人間の英知を試す温暖化 清川みどり
 エコロジー冷房の部屋出て語れ 渡辺 幸士
 【肥後狂句】
 北川直美選
 溜息 生演奏てすこかねえ 広田みどり
 溜息 五人目も又娘ん子 下山 千恵
 溜息 給料日までもつつか 志垣 光
 溜息 孫も成長と寄り付かん 佐藤 葵
 溜息 白無垢は何時見てもええ 布田かんな
 溜息 又年金の減つてたい 平井やよい
 溜息 国任するに頼りにやあ 長原 産賀
 溜息 まあだシートの被つとる 佐野しょう
 溜息 腹の底まで響きよる 光永 六
 溜息 美し過ぎるニカラット 井元あざみ
 溜息 大好物ア期限切れ 日高 美里
 溜息 五番違いの宝くじ 上田 梅清
 溜息 逢いたい人の二人居る 日隈 元良
 溜息 覗いただけのシウケース 北川 直美

■お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
 ☎096・234・2447(内線321)



佐藤 直樹さん
Naoki Satou

(広瀬区)

さとう なおき / 甲佐町地域
おこし協力隊として、宮内地区を拠点として精力的に活動。地域に密着して、本町のよりよい発展を目指す。

住民と共に楽しむ地域活動で 本町の発展を目指す

「甲佐町の良さを一言で表すなら、川の音が聞こえる町」と語るのは、甲佐町地域おこし協力隊の佐藤直樹さん（広瀬区）。

地域おこし協力隊とは、地域の活性化を目的として、都市住民など地域外の人材を地域の担い手として受け入れ、農林漁業の応援や住民の生活支援などの地域協力活動を行うもの。佐藤さんは、平成24年度から隊員として宮内地区を中心に活動を続けている。

本町へ来た当初は、「自然豊かで、川の音を楽しむような豊かさを持った人々が暮らす町というイメージがあったが、その良さがなかなか外部に伝わっていないことを感じたと振り返る。そこで、インターネットを活用しながら地域の活動団体の支援を行い、「甲佐町・宮内地区」の名前や暮らしを知ってもらおうことに注入。地域交流の機会とし

て、旧宮内小学校を活用し開催した「グラウンドバザー」では、1日で約1,000人の来場者を数えた。本年度の重点的な活動として、「空き家を活用した移住定住の促進」を目標に掲げ、「20〜30代の子育て世代がもっと増えてほしい。そのためには、地域経済振興とセツトである必要がある」と話す。また、熊本地震によって被災した家屋や、九州豪雨によって発生した流木や岩などの片付けを手伝い、宮内地区の復旧・復興を視野に入れ、地域団体と連携し、地域のコミュニケーション活動も継続して行うなど、佐藤さんの忙しい日々は続く。

「豊かな自然を舞台に、地域の知恵と若者のアイデアや行動力が掛け算されるような取り組みを重ねていきたい。」と語る佐藤さん。「耕作放棄地や空き家の増加、地域コミュニティの衰退など課題もたくさんあるが、少しずつ前へ進めるように協力をできれば」と本町の未来の発展を目指す。

広報 こうさ

2017年（平成29年）6月号
通巻575号